

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	8月の価格情報			9月の価格情報			入荷量及び主要産地	生育及び価格の10月中旬までの見通し	「図の見方」			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額							
	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬						
葉茎菜類	キャベツ	74.19	66 (89%)	74.19	76 (102%)	95 (128%)	・入荷量：16,366t ・主産地：群馬(53)、千葉(17)、岩手(10)、茨城(9)	平均価格	群馬産は、台風等の多雨により肥大が早く大玉傾向であるものの、腐敗や病害の発生により歩留まりが低下していることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、8月中旬の多雨によりやや生育が遅れていたものの、その後は順調で、現在出荷は平年並みとなっており、今後は生育の遅れも回復すると見込まれることから、平年より多めの出荷の見込み。			
		88.91	67 (75%)	88.91	81 (91%)	97 (109%)	・入荷量：3,972t ・主産地：群馬(51)、長野(22)、茨城(17)	平均価格	群馬産の出荷が平年並みと見込まれるもの、千葉産の出荷が平年より多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。			
	たまねぎ	93.34	142 (152%)	83.77	134 (160%)	116 (138%)	・入荷量：11,056t ・主産地：北海道(97)	平均価格	北海道産は、台風の被害を受けたものの作柄が良く、また、被害のあった輸送網についてもトラック等の振り替え輸送で対応し、一部では復旧していることもあり、引き続き平年より多めの出荷の見込み。			
		93.34	156 (167%)	83.77	147 (175%)	116 (138%)	・入荷量：3,800t ・主産地：北海道(80)、兵庫(19)	平均価格	北海道産の出荷が平年より多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。			
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	287.00	302 (105%)	287.00	310 (108%)	336 (117%)	・入荷量：5,877t ・主産地：青森(22)、北海道(18)、秋田(16)、山形(11)	平均価格	青森産は、台風の影響により折損等が発生しており、下等級品の増加や歩留まりの低下がみられることがから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。北海道産は、台風による折損や腐敗が散見され、品質や歩留まりの低下がみられることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。秋田産は、生育は概ね順調であるが、霜刈り等の作業があり収穫が遅れていることから、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は平年並みの出荷の見込み。山形産は、多雨による収穫遅れや病害も散見されることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。			
		487.13	497 (102%)	487.13	526 (108%)	541 (111%)	・入荷量：178t ・主産地：香川(24)、徳島(16)、三重(14)、奈良(12)、大阪(11)、高知(11)	平均価格	秋田産の出荷が平年並みと見込まれるもの、青森産、北海道産及び山形産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
	はくさい	81.96	56 (68%)	81.96	71 (87%)	98 (120%)	・入荷量：14,330t ・主産地：長野(68)、茨城(16)	平均価格	長野産は、多雨による収穫の遅れや傷みが見られ、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は天候の回復に伴い、出荷量の増加が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、曇天が多いものの大きな影響はなく、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。			
		88.72	51 (57%)	88.72	66 (74%)	90 (101%)	・入荷量：5,945t ・主産地：長野(95)	平均価格	長野産及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。			
果菜類	ほうれんそう	583.95	700 (120%)	583.95	999 (171%)	783 (134%)	・入荷量：1,501t ・主産地：群馬(38)、茨城(18)、栃木(15)、千葉(9)	平均価格	群馬産は、一部産地で台風及び曇天の影響で生育遅れがあるものの、それ以外の産地では生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、曇天が多いものの大きな影響はなく、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、生育は概ね順調で、現在平年並みの出荷となっているものの、台風の影響により、一部播種できなかったば場があることから、今後は平年より少なめの出荷の見込み。			
		670.86	752 (112%)	670.86	886 (132%)	830 (124%)	・入荷量：549t ・主産地：岐阜(58)、北海道(10)	平均価格	群馬産及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれるもの、栃木産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
	レタス (結球)	158.27	133 (84%)	158.27	179 (113%)	166 (105%)	・入荷量：9,057t ・主産地：茨城(54)、長野(29)	平均価格	茨城産は、曇天による日照不足や降雨により多少の傷みはみられるものの、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。長野産は、前進出荷により現在平年より多めの出荷となっているものの、8月下旬からの多雨及び気温の低下の影響で病害が見られることから、今後は平年より少なめの出荷の見込み。			
		152.57	146 (96%)	152.57	188 (123%)	172 (113%)	・入荷量：1,561t ・主産地：長野(45)、茨城(28)、兵庫(19)	平均価格	茨城産の出荷が平年並みと見込まれるもの、長野産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年並みの価格は、平年を上回って推移する見込み。			
根菜類	きゅうり	221.22	244 (110%)	221.22	272 (123%)	277 (125%)	・入荷量：6,155t ・主産地：埼玉(27)、群馬(24)、福島(14)、茨城(12)	平均価格	埼玉産は、現在曇天及び気温の低下により生育が遅れていた分が出荷を迎える、一時的に平年よりやや多めの出荷となっているものの、今後は出荷ベースが落ち着き、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、曇天による日照不足で肥大が進まず細物が多く、着果不良もみられることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。福島産は、曇天及び気温の低下により草勢が低下し、着果不良もみられることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。茨城産は、曇天による日照不足により生育が遅れていることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。			
		232.80	256 (110%)	232.80	307 (132%)	293 (126%)	・入荷量：1,188t ・主産地：群馬(22)、宮崎(19)、北海道(13)、大阪(12)、福島(8)	平均価格	埼玉産が平年並みと見込まれるもの、群馬産、福島産及び茨城産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
	トマト (大玉)	252.46	229 (91%)	252.46	257 (102%)	278 (110%)	・入荷量：6,354t ・主産地：千葉(21)、茨城(14)、青森(13)、福島(11)、北海道(8)	平均価格	千葉産は、現在平年並みの出荷となっているものの、曇天による日照不足や病害の発生が見られることがから、今後は平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、9月上旬くらいまで前進出荷となっていたが、最近の曇天により出荷ペースが落ち着き、引き続き平年並みの出荷の見込み。青森産は、天候に恵まれ生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。福島産は、着果は順調なもの、9月上旬の天候不順により肥大及び着色があまり良くないことから、現在平年より多めの出荷は、今後は平年よりやや多めの出荷の見込み。			
		298.46	258 (86%)	298.46	292 (98%)	315 (106%)	・入荷量：1,171t ・主産地：北海道(22)、熊本(21)、岐阜(18)、岡山(11)	平均価格	茨城産、青森産及び福島産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれるもの、千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
	なす	230.51	229 (99%)	230.51	314 (136%)	306 (133%)	・入荷量：3,421t ・主産地：高知(35)、栃木(21)、群馬(15)、茨城(14)	平均価格	高知産は、台風等の天候不順により着果不良となっていることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。栃木産は、曇天が多く草勢があまり良くない状況で着果不良となっていることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。群馬産は、多雨の影響で病害が散見されることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。			
		232.81	187 (80%)	232.81	278 (119%)	280 (120%)	・入荷量：883t ・主産地：高知(26)、山梨(19)、熊本(14)	平均価格	高知産、栃木産及び群馬産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
	ピーマン	263.58	213 (81%)	263.58	276 (105%)	316 (120%)	・入荷量：2,301t ・主産地：茨城(61)、岩手(20)	平均価格	茨城産は、現在平年並みの出荷となっているものの、曇天による日照不足により生育が遅れており、今後は夜温が低下していく時期でもあり、生育の回復もすぐには見込めないことから、平年より少なめの出荷の見込み。岩手産は、天候不順による生育の遅れからの回復による後ろ倒し出荷で、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。			
		296.27	210 (71%)	296.27	293 (99%)	335 (113%)	・入荷量：549t ・主産地：茨城(16)、宮崎(16)、青森(13)、高知(11)、大分(10)、兵庫(9)	平均価格	岩手産の出荷が平年よりやや多めと見込まれるもの、茨城産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
根菜類	だいこん	94.60	116 (123%)	94.60	121 (128%)	125 (132%)	・入荷量：13,851t ・主産地：北海道(31)、青森(29)、千葉(27)	平均価格	北海道産は、台風による大雨の影響で病害や割れが発生しており、肥大も進まず小ぶりのものが多いことから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。青森産は、台風による多雨の影響により腐敗が発生しており、品質も低下していることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。			
		95.37	115 (121%)	95.37	118 (124%)	119 (125%)	・入荷量：4,839t ・主産地：北海道(34)、石川(33)、青森(11)、新潟(9)	平均価格	北海道産及び青森産の出荷が平年よりも少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
	にんじん	123.08	139 (113%)	123.08	224 (182%)	313 (254%)	・入荷量：8,794t ・主産地：北海道(91)	平均価格	北海道産は、細物が多いことに加え、台風の影響により腐敗や病害が発生していることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。			
		123.11	144 (117%)	123.11	243 (197%)	331 (269%)	・入荷量：2,384t ・主産地：北海道(98)	平均価格	北海道産の出荷が平年よりも少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	8月の価格情報		9月の価格情報		入荷量及び主要産地	生育及び価格の10月中旬までの見通し	「図の見方」		
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格		(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格				現時点の価格水準 今後の価格水準		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬		平均価格		
いも類	さといも	254.79	406 (159%)	254.79 (128%)	327 (130%)	・入荷量：1,290t ・主産地：埼玉(47)、千葉(30)		埼玉産は、現在、順調な生育による早めの収穫により、平年より多めの出荷となっているものの、今後は出荷ペースが落ち着くことから、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、降雨の影響及び他の農作業と重なっていることで、収穫が遅れていることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。	
		220.11	354 (161%)	220.11 (183%)	402 (167%)	・入荷量：226t ・主産地：愛媛(55)、宮崎(10)		埼玉産の出荷が平年並みと見込まれるもの、千葉産の出荷が平年よりも少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	ばれいしょ	111.77	129 (115%)	111.77 (138%)	154 (151%)	・入荷量：8,096t ・主産地：北海道(99)		北海道産は、台風による収穫の遅れは回復しており、道外への輸送は振り替え輸送等で対応しているものの、腐敗が発生し歩留まりが低下していることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。	
		111.77	135 (121%)	111.77 (166%)	185 (152%)	・入荷量：1,525t ・主産地：北海道(80)		北海道産の出荷が平年よりも少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	

注： 1 平均価格は、過去6カ年（平成20～25年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。

2 旬別平均販売価額の赤字および青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字および赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。

3 単位は円/1kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。

5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで前年実績である。

6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聞き取りをもとに機構が作成したもの。

種類	8月の価格情報		9月の価格情報		入荷量及び主要産地	生育及び価格の10月中旬までの見通し	「図の見方」		
	(参考) 過去5カ年 平均価格		(参考) 過去5カ年 平均価格				現時点の価格水準 今後の価格水準		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬		平均価格		
洋菜類	ブロッコリー	361.38	503 (139%)	463.99 (132%)	613 (116%)	・入荷量：2,136t ・主産地：北海道(35)、埼玉(18)、長野(15)		北海道産は、台風の影響により病害が発生し、歩留まりが低下していることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。埼玉産は、天候不順による日照不足等に伴い生育が遅れしており、平年よりやや少なめの出荷となっているものの、今後は天候の回復に伴い、生育の回復が見込まれることから、今後は平年並みの出荷の見込み。長野産は、生育は順調で、高冷地二期作も順調に出荷されていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		374.93	526 (140%)	440.35 (125%)	551 (130%)	・入荷量：526t ・主産地：鳥取(31)、北海道(21)、長野(21)、徳島(8)		埼玉産及び長野産の出荷が平年並みと見込まれるもの、北海道産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
根菜類	ごぼう	287.26	378 (132%)	258.04 (141%)	364 (133%)	・入荷量：894t ・主産地：青森(72)、茨城(12)		青森産は、台風による多雨の影響により、葉の損傷や茎の折れ等が発生しており、今後は細物や短物が多くなることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。	
		172.56	264 (153%)	169.63 (149%)	253 (141%)	・入荷量：685t ・主産地：北海道(80)、群馬(6)、茨城(5)		青森産の出荷が少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
果菜類	かぼちゃ	177.84	246 (138%)	142.49 (186%)	265 (149%)	・入荷量：3,143t ・主産地：北海道(98)		北海道産は、台風やその後の多雨の影響で腐敗等が発生し歩留まりが低下していることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。	
		164.50	203 (123%)	133.59 (178%)	238 (119%)	・入荷量：1,060t ・主産地：北海道(99)		北海道産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	

注： 1 平均価格は、過去5カ年（平成23～27年）の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。

2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/1kgである。

3 旬別価格の赤字および青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字および赤の背景は平均価格を80%を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。

4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。

5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで前年実績である。

2 野菜の輸出入動向 一 輸出入数量と主な生鮮野菜の輸出入について 一

貿易統計による、8月の野菜の輸入量は、生鮮野菜が、5万8千トン（前年同月比108%）、加工野菜が15万8千トン（同112%）、野菜全体では、21万6千トン（同111%）となった。このうち、中国産の野菜合計は11万3千トン（同108%）となった。	野菜の輸入数量						野菜の輸出数量					
	(単位：トン、%)						(単位：トン、%)					
	区分	平成26年 前年比	平成27年 前年比	平成28年8月 前年同月比	平成28年1月～8月 前年同月比	区分	平成26年 前年比	平成27年 前年比	平成28年8月 前年同月比	平成28年1月～8月 前年同月比		
生鮮野菜	884,735	104	826,845 93	58,390 108	553,862 94	生鮮野菜	9,429	101	22,924 243	994 118	20,546 301	
加工野菜	1,785,487	96	1,752,337 98	157,654 112	1,173,373 99	加工野菜	17,061	120	20,493 120	1,723 110	14,220 114	
野菜合計	2,670,222	99	2,579,182 97	216,045 111	1,727,235 97	野菜合計	26,490	113	43,417 164	2,716 113	34,767 181	
うち中国産野菜合計	1,409,604	100	1,355,491 96	113,272 108	847,978 95	中国産シェア	53	53	52	49		
中国産シェア												
主な生鮮野菜の輸入先(平成28年8月) (単位:トン)												
		輸入合計	1位	2位	3位			1位	2位	3位		
		前年比	国名	数量	国名	数量	前年比	国名	数量	国名	数量	前年比
たまねぎ		25,148	109	中国	22,860	米国	1,246	オーストラリア	456	日本	1,000	108%
にんじん及びかぶ		7,342	129	中国	7,152	オーストラリア	186	米国	4	日本	1,000	108%
ねぎ		4,212	97	中国	4,212					日本	1,000	108%
ごぼう		3,915	102	中国	3,894	台湾	21			日本	1,000	108%
ブロッコリー		2,247	135	米国	2,127	オーストラリア	120			日本	1,000	108%
にんにく		2,169	107	中国	2,027	スペイン	91	米国	50	日本	1,000	108%
メロン		1,884	94	アメリカ	1,873	韓国	11			日本	1,000	108%
しょうが		1,831	136	中国	1,722	タイ	109			日本	1,	